

AYAKO TANAKA

©T.MINAMOTO

田中彩子 /ソプラノ

10代で単身ウィーンに留学し、その類まれなコロラトゥーラの才能を注目され、本格的に声楽を学ぶ。

22歳で、スイス・ベルンの州立歌劇場において『フィガロの結婚』でソリスト・デビューを飾る。同劇場では日本人初、且つ最年少での歌劇場デビューで大きな話題を集め、6ヶ月というロングラン公演を代役なしでやり遂げる。翌年、国際ベルヴェデーレ・オペラ・オペレッタ・コンクールではオーストリア代表として本選出場を果たす。

ウィーン・フォルクスオーパー歌劇場にてオペラ『ホフマン物語』のオリンピア役のカバーを勤め、その後オーストリア政府公認スポンサーで2012年から続いたモーツァルト作曲のオペラ『魔笛』のオーストリアの劇場を回るオペラツアーにて、同オペラの“夜の女王”役を3年間に渡って公演。

グスタフ・マーラー没後100周年におけるドイツ・ルーマニア合同フェスティバルにて、国立ブラショフフィルハーモニー交響楽団とマーラーの交響曲第4番のソリストとして出演する。それを機にコンサートソリストとしての活動も始め、2013年に南米ブエノス・アイレスで行われたコンサート・ツアーでは、「高音は信じられないほど正確、それにもかかわらず響きは柔らかで、まさに天使のよう」と絶賛され、その年のベスト・イベントに選ばれる。音楽史上まれな超高音で有名なモーツァルトのコンサート・アリア「テッサリアの民よ」をジュネーブで歌った際は、名歌手エッジ・モーザをはじめとした聴衆から「人生の中でそう聞けることのない素晴らしい声」と賞賛された。2013/14年にはロンドン・ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ソフィア交響楽団、ストラズブル室内管弦楽団などのコンサート定期公演に招待される。

2014/15年はウィーン2大コンサートホールの1つ、ウィーン・コンツェルトハウスの大ホールにてオルフの『カルミナ・ブラーナ』でのソリスト・デビューで大成功を取った。

2017年、作曲家エステバン・ベンセクリ氏が彼女の声にインスピレーションを受け作曲した協奏曲「コロラトゥーラソプラノとオーケストラの為の5つのサークルソング」を、南米最高峰コンサートホールCCKにおいて、国立アルゼンチン交響楽団とのシーズン開幕コンサートにて世界初演のソリストを務める。

日本では2014年11月エイベックス・クラシックスよりCD「華麗なるコロラトゥーラ」でデビュー。同年より毎年秋に全国ツアーを開催。

2016年8月小学館より自身初のフォトエッセイ「Coloratura」を発売、2017年9月には自身2枚目となるアルバム「ウィーンの調べ ～華麗なるコロラトゥーラ～」を発売。

京都府出身、ウィーン在住。

公式サイト <http://j-two.co.jp/ayakotanaka/>

加藤昌則 /作曲家・ピアニスト

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。

作品はオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評がある。村治佳織、山形由美、宮本益光、奥村愛など多くのソリストに楽曲提供をしており、共演ピアニストとしても評価が高い。王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Caféシリーズ」(企画・ピアノ)、東京・春・音楽祭「ベンジャミン・ブリテンの世界」(企画・構成)、「日生劇場ファミリーフェスティバル」(作編曲・構成)、HAKUJU HALL「中嶋朋子が誘う 音楽劇紀行」(音楽監督・ピアノ)など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。

作品は05年「スロヴァキアン・ラブソディ」06年オペラ「ヤマトノオロチ」、神奈川フィル定期演奏会で委嘱作品「刻の里標石」、12年「福島復興・復活オペラプロジェクト」作品「白虎」(第1回佐川吉男音楽賞受賞)、14年連作歌曲「二本の木」、15年「地球をつつむ歌声」(NHK全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲)など。

最新CDは17年10月発売「PIANO COLOURS」(エイベックス・クラシックス)。2016年4月よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」パーソナリティを担当。

ホームページ <http://www.masanori-music.com/>

公式Facebookページ <https://www.facebook.com/masanorikato02/>



2nd
Album

ウィーンの調べ ～華麗なるコロラトゥーラ 2～



CD:AVCL-25942 本体価格3,000円(税別)

田中彩子、待望のセカンド・アルバム！
第2の故郷ウィーン、第2の母国オーストリアにちなんで、癒やしと華やきの名曲を集めました。
コンサートで大好評の「エーデルワイス」日本語版も収録！

- 1 ヨハン・シュトラウス2世:美しく青きドナウ
- 2 ヨハン・シュトラウス2世:皇帝円舞曲
- 3 ヨハン・シュトラウス2世:ウィーンの森の物語
- 4 モーツァルト:聖母マリアより御体を受け(ハ短調ミサ曲 K.427より)
- 5 モーツァルト:アレレヤ(モテット「エクスルターテ・エビラテ」より)
- 6 モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618(ピアノ伴奏版)
- 7 フリース(伝モーツァルト):子守歌
- 8 シューベルト:子守歌 D.498
- 9 ブラームス:子守歌 作品49の4
- 10 シューベルト:アヴェ・マリア D.839
- 11 モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618(弦楽伴奏版)
- 12 ロジャース:サウンド・オブ・ミュージック
- 13 ロジャース:エーデルワイス(日本語詞)

[録音]2017年4月 岐阜、サランカホール

フォトエッセイ/コロラトゥーラ

「Coloratura」



その歌声は「100年にひとり」といわれる「coloratura」。一般的なソプラノ歌手よりはるかに高音域の歌声をもち、今音楽シーンを席巻している。彼女の半生———
32歳、初めてのフォトエッセイ

著者:田中彩子
撮影:橋本 雅司
出版社:小学館

定価本体:1,852円+税
発売日:2016年8月26日
判型/頁数判/96頁
ISBN9784093965385